

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

長岡療育園 通園センター

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	13	2	1	0	フロア上臥位で過ごす時間があり、利用者同士の距離が近くなる。安全面に配慮しマットを増やして対応している。 長期休みの時間は他のスペースを併用することで対応している。
	②	職員の配置数は適当であるか。	13	1	2	0	医療ケアが必要な利用者が多い時は、看護師がもう1名配置されると良いと思う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	16	0	0	0	園内は、バリアフリーで移動できる。 降雪時は、駐車スペースから園内に入るまでの車椅子移動が困難。融雪設備が改善されると良いと思う。 屋根付きの駐車スペースが増えると良いと思う。 外来の手すり（階段エレベーター脇）に「ゆるくなっているので触れないで下さい」との張り紙があり使用出来なかった。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参画しているか。	15	1	0	0	職員同士で気付きを共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	15	1	0	0	このアンケートを活用している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	16	0	0	0	長岡療育園のホームページで公開している。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	16	0	0	0	集合研、オンラインを併用し、研修に参加している。
適切な支援の提供	⑧	子どもと保護者の要望や課題を配慮した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	2	0	0	ご家族との面談や、学校や関係機関との会議で上がった内容を計画に盛り込んでいる。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか。	14	2	0	0	活動を行う際に、個々の目標を意識しながら実施するようにしている。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	0	0	生活介護での活動計画を共有している。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	2	0	0	年間で様々な活動を組み込めるように計画している。 振り返りを行い担当者を含め反省し、次の立案へと進めている
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	3	0	0	主に長期休暇の時に集団活動を行い、放課後利用時には、少人数や個別での活動を実施している。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	13	3	0	0	医療度の高い児に対し、活動内容や実施タイミングを工夫し確認している。 メインの担当は1名。放課後利用の時間に参加出来る職員で協力しあい実施している。
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	3	1	0	毎回終礼で振り返りを行っている。 振り返りのために記録も利用している。 制作活動では作品発表なども行なっている。
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の振り返り・改善につなげているか。	14	2	0	0	日々の記録、定期的な評価を行い、PDCAサイクルに組み込んでいる。
関係機関との連携	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参画しているか。	15	0	1	0	主に自発管が会議に参加し、職員間で情報共有している。
	⑱	学校との情報共有（支援方針など）を適切に行っているか。	11	4	1	0	送迎時や担当者会議の機会を利用し、情報共有している。

※次ページにも記入をお願いします

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点等
関係機関や保護者との連携	⑲	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、医療的に配慮すべき点について情報を得ているか。	15	1	0	0	主治医や療育園の医師から配慮すべき事柄についてアドバイスを受けている。
	⑳	就学時や卒業時などライフステージの移行時には、保育園や学校、障害福祉サービス事業等と連携をとり情報共有を図っているか。	15	1	0	0	担当者会議、移行支援会議等の機会を利用し、情報共有している。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	1	0	0	送迎時や面談の機会を利用し、状況を伝えあっている。また、連絡帳も利用し、状況を伝えあっている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか。	15	0	1	0	契約時に説明を行っている。
	㉓	「放課後等デイサービス支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	1	0	0	少なくとも6ヶ月1回以上、また計画に変更の必要がある時に計画を更新。保護者情報共有している。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか。	13	2	1	0	各職種の特性を活かしながら必要な助言を行っている。
	㉕	家族会の活動を支援し保護者同士の連携を支援しているか。	13	1	2	0	療育園全体として、家族会の活動を支援している。
	㉖	子どもや保護者から相談や申し入れがあった際には迅速かつ適切に対応しているか。	15	1	0	0	可能な限り迅速に対応できるように心がけている。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15	1	0	0	療育園として、広報誌「どうしん」を発刊している。また、通園独自に「通園だより」を毎月発刊している。
	㉘	個人情報に十分注意しているか。	14	2	0	0	個人情報保護に関する研修会。勉強会に全職員が参加できるようにしている。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	0	0	重症児に対する意思疎通や情報伝達は難しいため、ご家族や学校、関係機関と連携し、ご本人の意思表出方法等について情報共有している。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	1	1	0	事業団全体として、地域住民が参加できるイベント「太陽の広場」を企画、運営している。
	非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	2	0	0
㉜		非常災害の発生に備え、定期的に避難、その他必要な訓練を行っているか。	13	2	1	0	主に平日の日中に実施している。
㉝		事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	2	0	0	利用開始時と、服薬内容やてんかん発作症状が変化した場合に、ご家族へ状況を確認している。また、医師からもアドバイスを受けている。
㉞		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	0	0	全職員が虐待防止に関する研修に参加している。また、月に1回以上、虐待坊や身体拘束に関する会議を行っている。
㉟		やむを得ず身体拘束を行う場合には子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	1	0	0	可能な限り身体拘束を行わないために、他の方法をご家族や多職種間で協議している。現在身体拘束に該当する事例は無い。
㊱		食物アレルギーのある子どもについて、配慮されているか。	16	0	0	0	栄養課主導でアレルギー対応食の提供を行っている。インシデントが発生した際は、多職種で再発防止策について協議している。
㊲		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	16	0	0	0	療育園全体として共有している。